

【社会・中3・「私たちの暮らしと経済『生産と労働』】①

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

各グループの発表資料を分析し、投資する企業を決めるための話し合い活動を行うことで、起業と投資に関心を持ち、多面的・多角的に考察しながら自身の考えを表現する。

ICT活用のポイント

当該の連携型小中一貫校の取組で作成した情報活用能力の体系表を踏まえるとともに、学校だけではなく家庭学習も含めたICT端末の活用を図った実践

事例の概要

【つかむ】前時に学んだ投資について復習する。

【追究する】①企業プレゼンを行う。
②プレゼンの内容を踏まえて、投資先を決める。

【まとめ】投資を考える際の自分の考えをまとめ、学習内容の振り返りをする。

<前時及び家庭学習で>

グループ学習でお菓子会社を起業し、プレゼンを作成する。

<事例におけるICT活用の中心場面>

①プレゼンテーションソフト活用し、会社のプレゼンを行う。

・いくつかの観点を踏まえて、プレゼンを作成する。

「商品の紹介」「広報活動」「社会貢献」など

・プレゼンを聞いた生徒からの質問に回答する。

②アンケートフォームを活用して、投資したい企業に投票をする。

・投資先を決める視点を提示する

「売れそうか」「実現できそうか」「社会に貢献できそうか」「応援したいか」

・プレゼンを聞いた直後に、個人でプレゼンの内容を比較して自分の考えをまとめ、投資したい企業に投票する。

・プレゼンをした企業(生徒)とプレゼンを聞いた生徒が質疑応答を行い、さらに多面的・多角的な考えを得て、再投票する。

【社会・中学校1年・「私たちの暮らしと経済『生産と労働』】 ②

【事例におけるICT活用の場面①】



【ICT活用のメリット】

・プレゼンの作成については、学校での学習だけではなく、家庭学習の時間や、生徒が主体的に休み時間などを活用して進めた。場所や使用する道具、時間などの制限を受けずに学習活動を進められるよさがある。

【本時の生徒の様子】

・短い時間でのプレゼン作成だったが、生徒たちの発表内容は、とても充実していた。「資料を活用して根拠を示す」、「自分たちの考えを分かりやすく伝える」など、学習内容に関連した表現力も高まっていると感じられた。

【事例におけるICT活用の場面②】



【ICTとワークシートを併用して活用するメリット】

・プレゼン発表や投資先の投票状況を提示するためにICTを活用することで、発表の内容や状況の変化を視覚的に分かりやすく示すことができた。また、ワークシートを活用して記録することで、ICTの資料やシートを見返しながら、自分の考えを深める学習活動が展開された。

【本時の生徒の様子】

・1回目と2回目の投票において、投資先を変更する生徒がいた。変更してもしなくても、その理由をしっかりと表現できた生徒も多くいた。